

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【公表番号】特表2018-524912(P2018-524912A)

【公表日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2018-033

【出願番号】特願2017-567224(P2017-567224)

【国際特許分類】

H 01 P 5/08 (2006.01)

H 01 P 3/10 (2006.01)

H 04 B 3/54 (2006.01)

【F I】

H 01 P 5/08 G

H 01 P 3/10

H 04 B 3/54

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月26日(2019.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

方法であって、

導波路システムの導波路スロットを介して、支配的非基本波モードを有し、電気戻り経路を要さずに伝送媒体を伝搬する誘導電磁波を形成するように結合する第1の電磁波のインスタンスを放射するステップであって、

前記誘導電磁波が非光学動作周波数を有し、

前記導波路システムが、送信機によって生成された電磁波を受信する中空矩形導波路部分を備え、前記電磁波によって前記第1の電磁波の前記インスタンスが前記導波路システムの前記導波路スロットから生成され、

前記導波路スロットが前記導波路システムの被覆上に位置し、該被覆の表面が内側中間領域及び外側中間領域に分割され、前記内側中間領域において前記表面を流れる電流が前記外側中間領域において前記表面を流れる電流とは異なり、第1のスロットと第2のスロットの間に所定の外周距離を有する前記内側中間領域及び前記外側中間領域に対する所定位置における前記第1のスロット及び前記第2のスロットの配置によって、第1の電磁波の第1のインスタンスの第1の電界が、前記支配的非基本波モードを有する前記誘導電磁波を形成するように結合する前記第1の電磁波の第2のインスタンスの第2の電界に対して実質的に非対称となる、放射するステップ、及び

前記導波路システムによって、電気戻り経路を要さずに前記誘導電磁波の誘導伝搬のために前記誘導電磁波を伝送媒体の界面に誘導するステップを備える方法。

【請求項2】

前記導波路スロットの対が、実質的に同様の方向の電界配向を有する前記第1の電磁波の対を生成して少なくとも前記支配的非基本波モードを生成するように相互に相対位置を有するように構成される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の電磁波の前記インスタンスを前記伝送媒体の前記界面に誘導するステップが、前記導波路スロットの1以上のスロットを有効化するステップを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記導波路スロットの前記1以上のスロットが、前記導波路スロットの前記1以上のスロットによって前記第1の電磁波の前記インスタンスの生成を遮蔽する障害物を除去することによって有効化される、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記第1の電磁波の前記インスタンスを前記伝送媒体の前記界面に誘導するステップが、前記導波路スロットの1以上の他のスロットを無効化するステップを備える、請求項3に記載の方法。

【請求項6】

前記導波路スロットの前記1以上の他のスロットの各々に障害物を付加して、前記導波路スロットの前記1以上の他のスロットによって電磁波の生成を阻止することによって、前記導波路スロットの前記1以上の他のスロットが無効化される、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記第1の電磁波の前記インスタンスを誘導するステップが、前記導波路スロットの第1のスロットによって、第1の位相を有する電磁波を放出するステップを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記第1の電磁波の前記インスタンスを誘導するステップが、前記導波路スロットの第2のスロットによって、第2の位相を有する前記電磁波を放出するステップをさらに備える、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記第1の位相を有する前記第1のスロットによって放出される前記電磁波が、少なくとも前記支配的非基本波モードを有する前記誘導電磁波を生成するように、前記第2の位相を有する前記第2のスロットによって放出される前記電磁波と結合する、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記導波路システムが、前記第1の電磁波を前記導波路スロットに誘導するための導波路構造体を備える、請求項1に記載の方法。